

ヴァイトラックビ®内用液 経鼻または胃栄養チューブを介した投与について

監修：九州大学小児科 古賀 友紀 先生

ヴァイトラックビ®内用液は、通常1mLまたは5mL専用ピペットにて経口投与します。
経口投与が困難な場合は、経鼻または胃栄養チューブを介した投与が可能です。

経鼻または胃栄養チューブを介した投与方法

適切な経鼻または胃栄養チューブを使用します。経鼻または胃栄養チューブの外径(太さ)を患者特性に合わせて選択してください。本剤の投与において目安となるチューブの太さ、長さ、および注入容量を表に示しますが、各施設の状況および患者の状態に合わせてご判断ください。

- ① 栄養補給を停止し、10mL以上の水でチューブを洗浄します。
(注意：新生児および水分制限がある小児患者については**注意事項**をご参照ください)
- ② 経鼻または胃栄養チューブに接続できる適切なシリンジで、本剤の服用量をはかりチューブに注入してください。
(注意：ボトルアダプターは一般的なシリンジと接続できないため使用しないでください)
- ③ 10mL以上の水でチューブを再度洗浄し、本剤が確実に注入され、チューブ内に何も残らないようにします。
- ④ 栄養補給を再開します。

ヴァイトラックビ®内用液の投与における経鼻または胃栄養チューブの目安

患者	太さ		長さ	注入量
	標準栄養剤用	高密度栄養剤用		
新生児	4~5Fr	6Fr	40~50cm	0.25~0.5mL
小児	6Fr	8Fr	50~80cm	0.7~1.4mL
成人	8Fr	10Fr	80~120cm	1.4~4.2mL

欧州製品概要 (summary of product characteristics: SmPC, 2020年9月時点) Table 7: Recommended tube dimensions per age group

⚠ 注意事項

- 経鼻または胃栄養チューブを用いる場合、本剤は栄養剤と混合しないでください。
(本剤と栄養剤との混合により、チューブを詰まらせる恐れがあります)
- チューブを洗浄する際、新生児および水分制限がある患者では、0.5~1mLの最小限の水量で洗浄、または空気圧によって本剤を注入する必要があります。